

厳島港(宮島口地区) 港湾整備工事見学会

平成29年11月15日、厳島港（宮島口地区）の整備に興味・関心を持っていただくため、大野東小学校の6年生159名を対象に工事見学会を開催しました。

説明会では、広島県西部建設事務所廿日市支所、廿日市市、施工業者から宮島口の歴史・まちづくり、港湾整備事業の概要、工事施工状況について説明し、宮島口の今後の計画について学んでいただきました。



県・市より宮島口の歴史や事業概要を説明



まちづくりについて感想・質問をもらう



施工業者より工事内容を説明

現場見学では3トンのコンクリートブロックをクレーンで海底に設置する作業を公開しました。この作業は、潜水士が地上の作業員と無線で連絡を取りながら行うものです。その後、潜水士の仕事内容について質問をしてもらい、現場の様子を体験してもらいました。



クレーンを使った作業を見守る小学生



潜水士の作業状況



潜水士による仕事内容の説明

最後に、小学生の皆さんにとってよい思い出となるように、クラス毎に記念写真撮影を行いました。また、見学会を通して、今後も宮島口が発展していく様子を楽しみにしていただくようお願いして、今年度の見学会を終えました。



クレーン船を背景にしてクラス毎で記念撮影

工事見学会に参加した小学生から、次のような意見をいただきました。

（主な意見）

- ・宮島口の将来が楽しみになった。
- ・家族と一緒に宮島口を訪れたい。
- ・宮島口の抱えている問題が分かった。
- ・潜水士と会話するのが楽しかった。
- ・工事を行うのが大変だということが分かった。

ホームページもご覧ください

↓検索サイトから QRコードから→

宮島口港湾整備 で 検索



広島県西部建設事務所
廿日市支所 厳島港整備課